

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 有限会社 野中建設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具合的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																							
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有、実践している。	●		就業前朝礼時において、弊社としての経営理念・経営目標確認を行い、社員全員に共通認識を持たせている。社員が少数であることから、疑問点等があれば随時受け付けて、説明・改善の検討をしている。											8	9								17				
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		就業前朝礼時に会社継続の為に、法令順守が大切であることを、社員全員に共通認識として理解してもらうようにしている。外部講習会を活用し、労働安全関係法令順守の認識を持たせるようにしている。																				16				
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		「不正競争行為に関与しない方針」を掲げ、朝礼等において社員に周知徹底を図るようにしている。																					16			
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		分別・リサイクルの大切さを認識させ、循環型社会への適応を目指す。社員には「住宅省エネルギー技術者講習」を受講させ、環境問題を認識させるようにしている。																						16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		設計等において、VR等を活用したICT化をしている。職人を育てるため、従業員の正社員化を基本とし、外部講習会を活用した人育成に努めている。												8.2 8.3	9											
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		お客様の個人情報管理を徹底する。外部への漏洩を防ぐ為、取り扱い者は社長個人のみを基本とする。開示は最低限で十分であり、近隣に対しても配慮するようにしている。																					16			
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		弊社倉庫外壁を利用し、補助金等の情報公開を行うようにしている。対象は地域の皆様であり、地域に貢献できる企業を目指している。																			16	17				
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		建設現場は、多職種の集合体により工事を進めている。各職種の権利は平等であり、ゴミの分別を含めて各職種が事業継続できる環境づくりを進めている。					5							8		10		12	13	14	15	16	17			
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		事業継続力強化計画の認定を受け、継続的な活動を進めている。事務所には、停電対応電話機も設置済み。停電時も固定電話電話対応できるようにしている。														9			11		13.1		16	17		
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		人材は宝であり、伝統技術を継承するために職人を社員化し、自社育成を進めている。弊社だけでは教育不足が否めないため、外部団体が主催する講習会等への参加するようにしている。後継者も確定済みである。													8	9								17		
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2			5							8				12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		個人個人の権利は保障されるべきものであり、弊社社員のみならず取引先各位の人権確保に努めるようにしている。																				16.1 16.2 16.7				
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		建設業において「労働災害防止」は、特に重要である。弊社で発生した事案の反省を含め、二度と家族の悲しむ姿を見ることがないように意識改革に努めるようにしている。施主の安全に対する理解が得られない場合は、受注を断念するようにしている。																				8.8				
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		同一労働同一賃金等の原則に従い、労働に対する公正な対価支払いを実施するようにしている。																					10.2 10.3			
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		休日確保し、長時間労働の防止に努めている。工事発注者である施主にも理解を求め、適正工期・適正賃金での労働環境づくりを進めている。																					10.3			
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		各種講習会・安全教育への参加を社員に勧めている。必要であれば会社主催での講習会を実施し、取引先各位にも参加を求め全体での人材育成を目指している。																								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		朝礼時・各打合せ時に従業員だけでなく、各職人への声掛けを行い心身の健康管理に努めている。早期に不安要素を発見できれば、生産性向上に連動し「健康経営」が、進展するようにしている。																					17			
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		多様な人材(女性・外国人・障がい者・高齢者等)の個性が十分に発揮できるように、適材適所の方針で現場管理を行っている。																					16.7			
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		手洗い・うがいを徹底し、感染症対策や各種災害防止に努めている。無駄な移動を少なくする為、計画的な資材管理を行っている。(自社倉庫の活用)																					8	9.1	11	12
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		ものづくり補助金を活用したIT化を進め、お客様や関連業者との打合せもオンラインでの実施をしている。																						8	9.1	11

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 有限会社 野中建設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12										

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 有限会社 野中建設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		産廃処分の委託契約締結を行うとともに、分別処分の徹底を行っている。廃棄物が少ない場合は、弊社仮置き場にて分別保管を行い、適切な処分・リサイクルに努めるようにしている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		照明器具は、仮設を含めLED照明に取替えている。ガソリン等の燃料消費を抑えるため、効率的な移動に努めている。エネルギー消費量を1年以内に把握する予定にしている。							7.3							13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		倉庫屋根を活用し、太陽光発電を行っている。CO2排出量を1年以内に把握する予定にしている。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		自然素材を活用し、循環型社会を目指している。使用する木材も輸入材ではなく地域産材を利用し、輸送エネルギー削減にも努めている。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		自社倉庫・仮置き場を活用し、余剰材の削減・再利用に努めている。再生利用を進める為、仮置き場にて分別を徹底しリサイクル業者との連携に取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		自社関連で「27万㎡」程度の森林を所有し、その一部は保安林認定を受け水資源確保に取り組んでいる。定期的な保全活動を森林組合等に依頼し、継続性を計っている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5				14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		グリーン購入、リサイクル商品購入に努めている。屋根野地板・押入れ等の内部仕上材は、環境に配慮した製品(杉無垢材)を基本とし、製造・運搬エネルギー削減を含め、地域産材活用にも努めている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4							12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6 11.7		13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		設計において、高効率給湯機・断熱浴槽等利用を基本とし、高断熱化に努めている。自社においては、倉庫屋根を活用した太陽光発電を、3棟で行っている。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		地域森林資源の活用を自社の基本方針とし、杉・桧AD材活用を重視とした設計施工を行っている。自社関連で「27万㎡」程度の森林を所有しており、持続的な森林利用の取組みを推進している。						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		自社関連で「27万㎡」程度の森林を所有し、その一部は保安林認定を受け水資源確保に取り組んでいる。定期的な保全活動を森林組合等に依頼し、継続性を図っている。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●														12.2 12.5			14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4		11.2		13.1 13.3						
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a			9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2		

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 有限会社 野中建設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		取引先業者を厳選し、お客様のアフターサービスに努めている。大きな企業を目指すのではなく、地域に必要とされる企業を目指している。			3.9							9			12.4							
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		障がい者施設施工で学んだノウハウを生かし、一般住宅に活用している。建物の寿命は長い為、長期的な生活スタイルの変化に対応できるように、設計段階から配慮している。										9.1	10	11.7							17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	地産地消を基本とし、地域で育った「杉・桧」を活用した家づくりを基本としている。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15				17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	自社事務所の一部内装を杉材で行い、施主が理解しやすいように準備している。押入れ等の内装は杉材が基本であり、有効活用を目指している。木材の基本寸法を120mmとし、木材活用に努めている。							7					12.2	13.1			15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●	くまもと県産木材アドバイザーとして、木材活用に努めている。要請があれば、木造の良さを講演等で広めている。			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2			14	15			17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		弊社倉庫には大量に木材を保管しており、災害時には活用できるように地域消防団と連携している。AEDを事務所外部に設置し、24時間自由に活用できるように、地域公告している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		自社事務所は、「土石流危険地域」に隣接しており、リスク分散の倉庫を分散して設置している。「事業継続力強化計画に係る認定」済み。自社には停電用電話設置済み。地域災害復旧への対応準備済み。				4							11.5		13.1				16			
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	地域消防団と連携し、地域防災に努めている。社員の消防団活動への参加を奨励している。AEDを事務所外部に設置し、24時間自由に活用できるように、地域公告している。	1.5		3	4						10.2	11.5			13.1			16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1						
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	弊社倉庫外壁に、SDGs普及啓発看板を設置している。自社だけではなく、地域としての取り組みを目指している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	菊池公共職業安定所に対し、インターンシップの受け入れ、職場見学、産業の実態や働くことに関する職場関連事業の実施について協力を申請している。				4					8.6		10.2									17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	弊社は地場のみの企業であり、地域で働く魅力を発信している。				4.4					8.5 8.6											17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●	中学校の職場体験等に協力し、林業の大切さを教えている。		2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15				17

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。